

リレーフォーライフジャパン 2017 やまぐちQ&A

Q. そもそも、このイベントの趣旨はどういったものですか？

がん患者さんやそのご家族を支援し、地域全体でがんと向き合い、がん征圧を目指す、年間を通じて取り組むチャリティ活動です。

この歴史は意外と古く、1985年にアメリカで一人の医師が「がん患者は24時間、がんと向き合っている」という想いでトラックを24時間走り続け寄付を募ったことから始まり、昨年は世界25カ国、約6,000か所で実施されました。

日本では、2006年に茨城県つくば市から始まり、今年で11年目を迎え、約50地域で開催される予定です。

Q. 山口県では何回目の開催ですか？

昨年はじめて、美祢市の秋吉台国際芸術村で開催され、今回、9月16日、17日に周南市陸上競技場で2回目の開催となります。

Q. イベントの具体的な内容は？

まずは、リレーウォークです。

がん患者さんをサバイバー、そのご家族やご遺族、支援者の皆さんをケアギバーと呼びますが、この他一般参加者がチームを組んで、また個人で参加された方を含めて、イベント期間中、みんなでタスキを繋いで歩きます。

そのウォークコースには、会場に来られないサバイバーやケアギバーなど、多くの方の思いやメッセージが書かれたルミナリエが配置されています。

日没後には、このルミナリエ約1000個に灯をともして、ライトアップします。

また、参加者や一般の方も楽しめるよう、音楽演奏など、様々なステージイベントも用意しています。

Q. イベント期間中タスキを繋いで歩くとのことですが、ずっと歩くのですか？

タスキを繋いで夜通し歩きます。

でも一人がずっと歩く訳ではありません。

参加者が自分のペースで歩ける範囲で歩きます。

極端に言うと1周歩くだけでもいいんです。

何周か歩いて休憩し、元気が出たらまた歩く。途中寝てもいいんです。

Q. 参加するにはどうすればいいですか？

当日受付もしてるので、イベント期間中においでください。

誰でも参加でき、いつから来て、また、いつ帰ってもいいんです。

夜通しで実施しているので、例えば暗くなってルミナリエの灯りを見ながら歩いたり、朝早くに来て朝焼けの空を眺めながら歩くとか自由です。

Q. 参加費用は？

賛同費として500円の寄付をお願いしています。

ただ、がん患者の方と高校生以下は無料です。

Q. 寄付されたお金はどういったことに活用されていますか？

公益財団法人日本対がん協会に寄付され、がんの新しい治療法や新薬開発のに向けた研究への助成、若手医師に対して国内がん専門施設への研修費用の助成やアメリカ最大のがんセンター（MD アンダーソン）への派遣、がん無料電話相談ができるホットラインを設けて、医師、看護師や社会福祉士による電話相談または面接相談するなど、様々ながん征圧、患者支援のために使われます。

最後に

今がんは2人に1人が罹り、3人に1人はがんで亡くなる時代です。

きっと皆さんの身近にがんと闘っている人や経験した人がいると思います。

もしかしたら、皆さん自身が今がんと闘っている人かもしれません。

今身近にいても、いつかそうした時が訪れてしまうかもしれません。

このイベントは、そういった方々が集まって、サブタイトルにもある「語り合おう つながろう」を合言葉に、みんなで創り上げるイベントです。

是非多くの方の参加をお待ちしています。